

第10回 横浜の子どもが作る弁当コンクール 報告書

テーマ：作るうれしさ 食べる笑顔 GREEN×EXPO2027とともに！
～横浜の地場産物を取り入れた「私の花博弁当」を日本から発信しよう～

10周年を迎えた弁当コンクールに思う



「自分の弁当は自分で作れるように」との願いから、このコンクールを始めて、今年で10周年を迎えました。その間、小学校・中学校・特別支援学校から毎回1500名近くの応募がありました。この活動は横浜市教育委員会をはじめ、よこはま学校食育財団・よこはまユース・横浜市安全教育振興会の後援・共催・助成等を受け、また企業からは温かい賛助や協賛をいただき開催することができています。できるだけ多くの子どもたちを励ましたいという思いから入賞者は16名、入選者は30名余りに増え栄冠に輝いた笑顔いっぱいの子供たちたちに賞状と賞品を渡すことができました。当初このコンクールは書類審査の後、実技審査を経て入賞者を選んでいましたが、コロナ禍の中でプレゼン方式の審査に替わりしました。

入賞者のお弁当にはそれぞれテーマに沿った思いが込められており、審査員はその素晴らしいアイデアや工夫を毎回称賛しています。子どもたちは、日頃の学びを弁当に詰めることで人生を豊かにする宝を学んでいます。

この会を主催する一人として、子どもも大人も学ぶコンクールに喜びを実感しています。

(一社)横浜すばいす 食育事業代表 池田ふみ子

9月28日(土)一次審査の様子



11月2日(土)二次審査の様子



子どもたちの発表を聴きながら「横浜の子どもが作る弁当コンクール」の価値を再確認しました。「給食室の改修工事があり、毎日のお弁当を親だけに任せずに自分でも作りました」「いつも、兄弟のために作っています」などの主体的に取り組んでいる様子、国際園芸博覧会のテーマに向けては「お花を作るのに苦労しました」「日本らしさを出すために工夫しました」など楽しみながら作っている子どもの姿。弁当作りに取り組もうとする子どもたちが増えていることを喜び、日本の弁当文化を考え継承することにつながっていると実感しました。



(一社)横浜すばいす 代表理事 北村克久

入選おめでとう
ございます



<学びの多様化学校>

星槎高等学校	2年	真板 佑奈
星槎高等学校	2年	川村 優未
星槎高等学校	3年	木村 爽来

<小学校>

市場小	5年	中野 紗希
新鶴見小	3年	飯野 瑞
永谷小	5年	本田 心結
永谷小	6年	鳥畑 怜花
永谷小	6年	高野 流星
永谷小	6年	丸田 楓夏
白根小	6年	渡邊 樹
小机小	3年	福原 里
境木小	6年	山田 聡哉
上瀬谷小	6年	須藤 絢子
港南台第一小	6年	日野川 紗英

<特別支援学校>

ろう特別支援	中2	宮川 陽成
ろう特別支援	高3	山田 彩葉
二ツ橋高等特別支援	高3	山本 将

<中学校>

鶴見中	1年	白木 璃桜
鶴見中	1年	梅沢 夏鈴
本牧中	3年	濱口 歩輝
南中	3年	仲亀 日葵
上菅田中	2年	大貫 美桜
上菅田中	3年	横井 明衣
希望が丘中	2年	久保田 采依
希望が丘中	2年	中山 要
金沢中	2年	石毛 桜子
篠原中	2年	阿部 由依
篠原中	2年	杉山 雅樹
篠原中	2年	勝畑 一紀
篠原中	2年	広橋 翔
東鴨居中	3年	郷 東颯
東鴨居中	3年	渡部 花音
東鴨居中	3年	関 小羽
東鴨居中	3年	高橋 希風美